

キャンプ砂防2026 in多治見

～地域に残る災害の記憶を体感し、木曽・東濃の歴史と文化に触れ、背景から砂防を学ぶ～



実施概要

(テーマ)

長野県西部地震、梨子沢土石流、御嶽山噴火等、度々、大規模災害に見舞われてきたこの地域に残る被災の記憶を体感し、木曽・東濃の歴史・文化にも触れて、砂防関係事業の役割について、その背景となる多くの事象から学び、理解を深める。

(期間)

令和8年8月3日(月)～令和8年8月7日(金)

(箇所)

庄内川流域砂防 → 岐阜県多治見市、土岐市

木曽川流域砂防 → 岐阜県中津川市、長野県南木曽町、大桑村、上松町

御嶽山崩壊地 → 長野県王滝村

【実施内容】

◇砂防施設見学 → 浦山第2砂防堰堤(登録有形文化財)、雲五川床固工群、四ツ目川遊砂工、和合蛇抜沢沈砂地(施工現場)、滑川第1砂防堰堤、等

◇現地視察 → 御嶽山崩壊地、自然湖 等

◇文化施設見学 → 天白公園(蛇抜けの碑、桃介橋)、妻籠宿、苗木城 等



1日目 座学で基礎知識を確認し、文化財の堰堤を見学しました。



砂防講座



浦山第2砂防堰堤

2日目 「災害の記憶」をテーマに、長野県西部地震時の土砂崩れの結果生まれた自然湖や伝承の施設を巡りました。



平成蛇抜の碑(梨子沢)



自然湖(王滝村)

3日目 御嶽山崩壊地、砂防堰堤の工事現場を視察しました。



御嶽山崩壊地



深沢砂防堰堤(コンクリート打設)

4日目 ドローン体験を実施、砂防施設の除石工事を視察しました。



ドローン体験(四ツ目川遊砂工)



地獄谷第4砂防堰堤(除石工事)

5日目 最終日にアウトプットすることで、理解を深めました。



研修報告会



記念撮影

(参加者の声)

- ・砂防事業について、大学で学んできた知識を実際の現場と結び付けて考えることができた。
- ・砂防とその地域の歴史や文化の変遷について、想像以上の関連性を感じた。
- ・御嶽山崩壊地の現場見学では、近くで見るほど長野県西部地震による山体崩壊が想像以上に大きな規模で起こっていたことを実感した。
- ・過去の災害によって実際に被害を受けた場所や、砂防施設が土砂を捕捉した現場を見ることで、砂防事業が地域の安全を支える重要性を実感することができた。
- ・普段では絶対に近づけないような現場を訪れることができた。砂防のみならず治山の考え方にも触れることができた。